

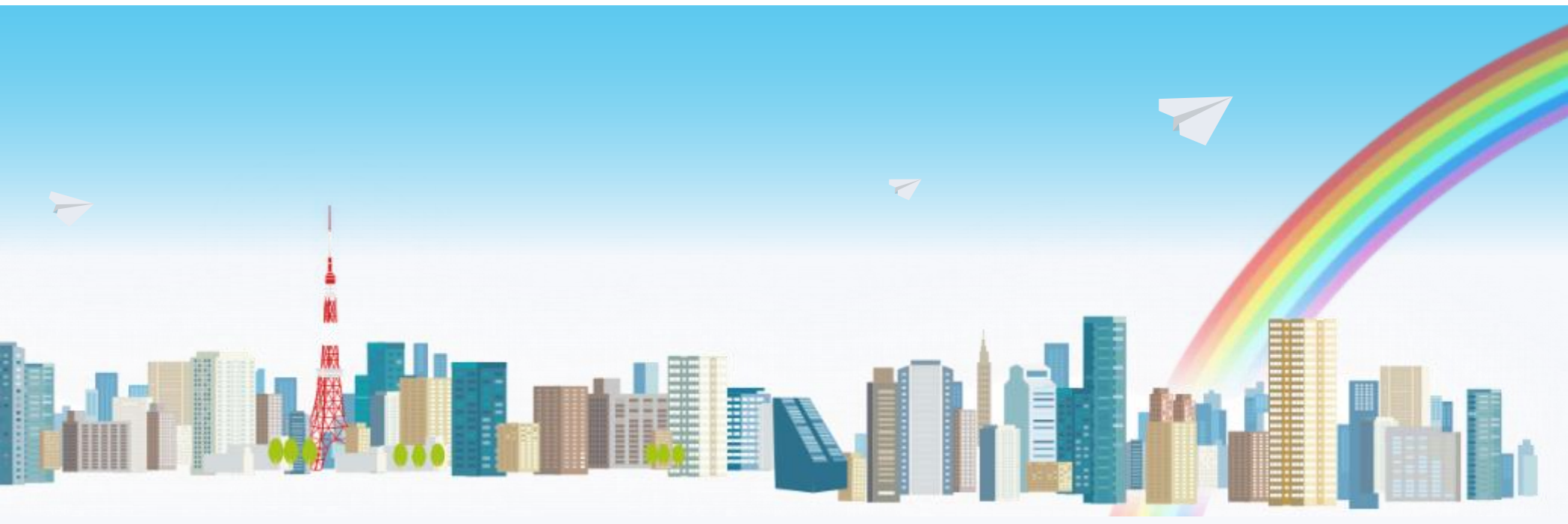
2023年1月17日



2022年11月期 決算説明資料

AHCグループ株式会社

証券コード：7083



1	2022年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 通期業績予想	14P
3	2023年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	27P



1	2022年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 通期業績予想	14P
3	2023年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	27P



- 福祉・介護事業での新規事業所の開設・立ち上がり、外食事業の回復により、売上高は前期比789百万円増加の4,904百万円となった一方で、福祉・介護事業のコロナ禍による稼働の低下により、営業利益はほぼ横ばいの△215百万円、経常利益は△200百万円となった

(単位：百万円)

	2021年11月期 実績 (2020/12~2021/11)		2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,114	100.0%	4,904	100.0%	789	19.2%
売上原価	3,950	96.0%	4,657	95.0%	706	17.9%
売上総利益	163	4.0%	247	5.0%	83	51.1%
販売費及び一般管理費	397	9.7%	462	9.4%	65	16.4%
営業利益又は営業損失	△234	△5.7%	△215	△4.4%	18	-
経常利益又は経常損失	39	1.0%	△200	△4.1%	△239	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	1	0.0%	△253	△5.2%	△255	-



- 福祉・介護事業は学校や同居家族の新型コロナウイルス感染拡大により、予想よりも利用キャンセルが増加し、売上高が減少した
- 外食事業では食品の加工・物流事業で予想に対し取引量が増加した一方、飲食店舗の客数が予想よりも減少、また、追加でカツカレー専門店を1店舗閉店したことにより売上高が減少した

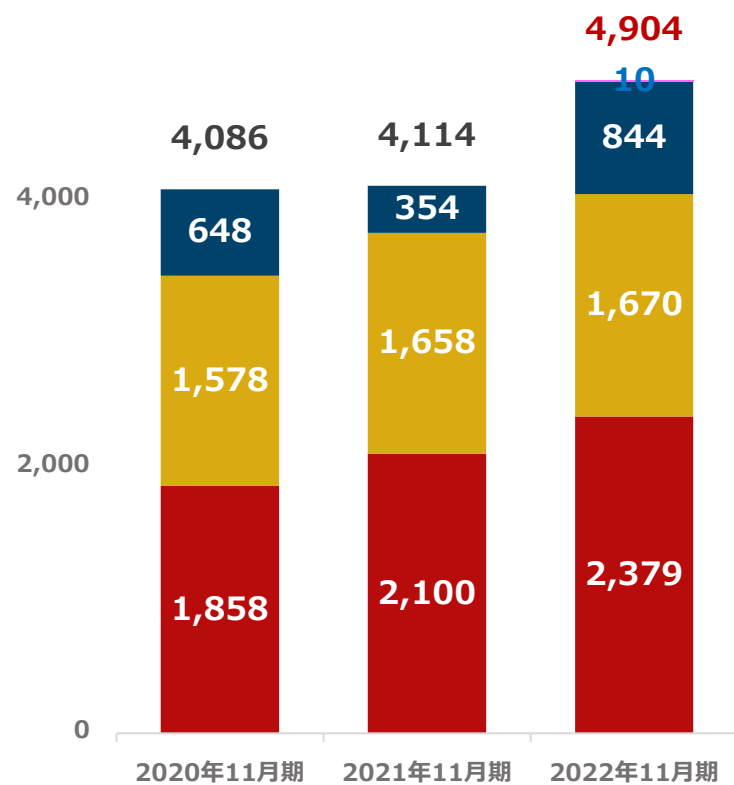
(単位：百万円)

	2022年11月期 予想 (2021/12~2022/11)		2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)		修正予想比 増減額	修正予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,048	100.0%	4,904	100.0%	△143	△2.9%
営業利益又は営業損失	△66	△1.3%	△215	△4.4%	△149	—
経常利益又は経常損失	△55	△1.1%	△200	△4.1%	△145	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	△93	△1.9%	△253	△5.2%	△160	—



売上高の推移

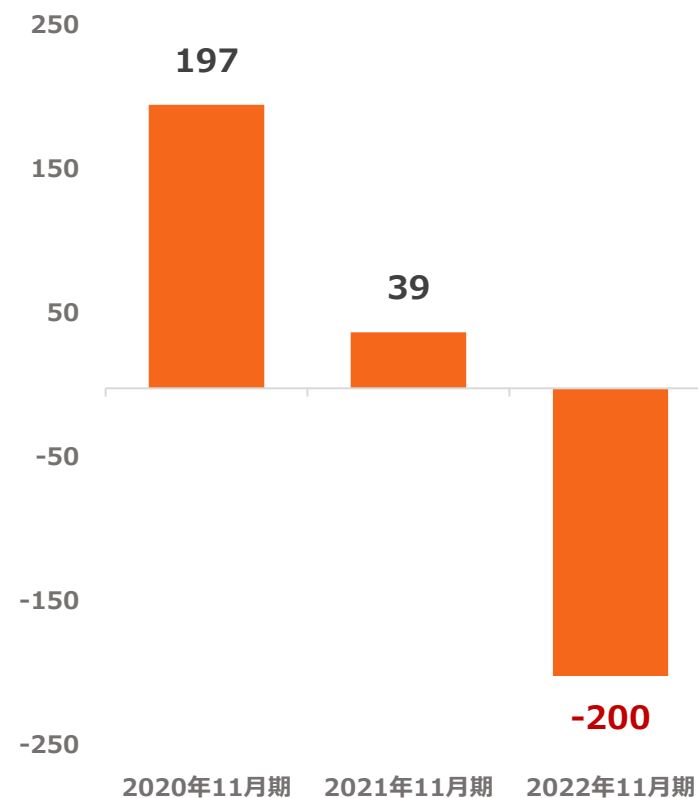
(単位：百万円)



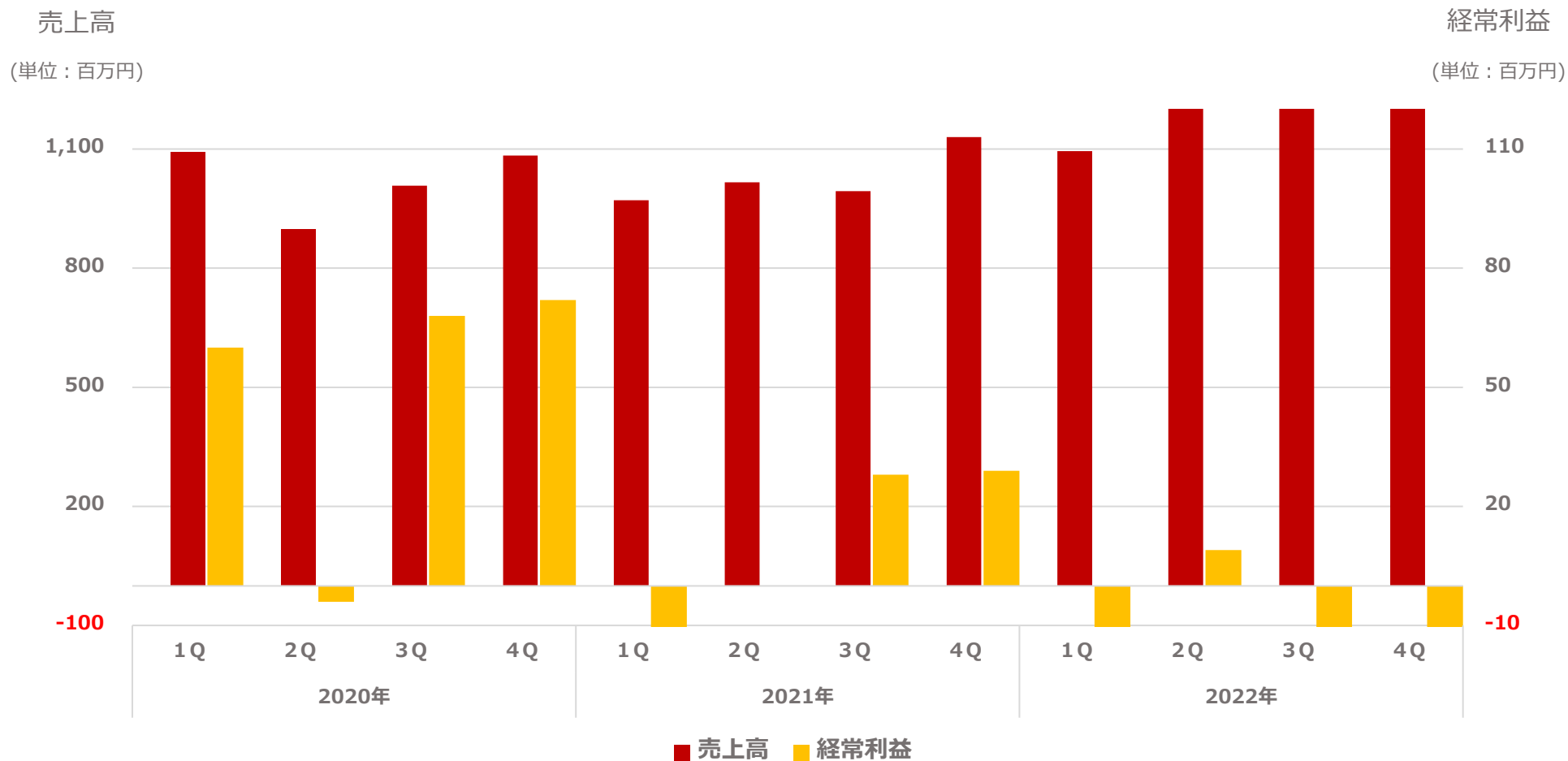
■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業 ■ 調整

経常利益の推移

(単位：百万円)



- 売上高は第2四半期以降の水準を維持できたものの、経常利益は福祉・介護の既存事業所の稼働の低下により、第3四半期・第4四半期では減少した



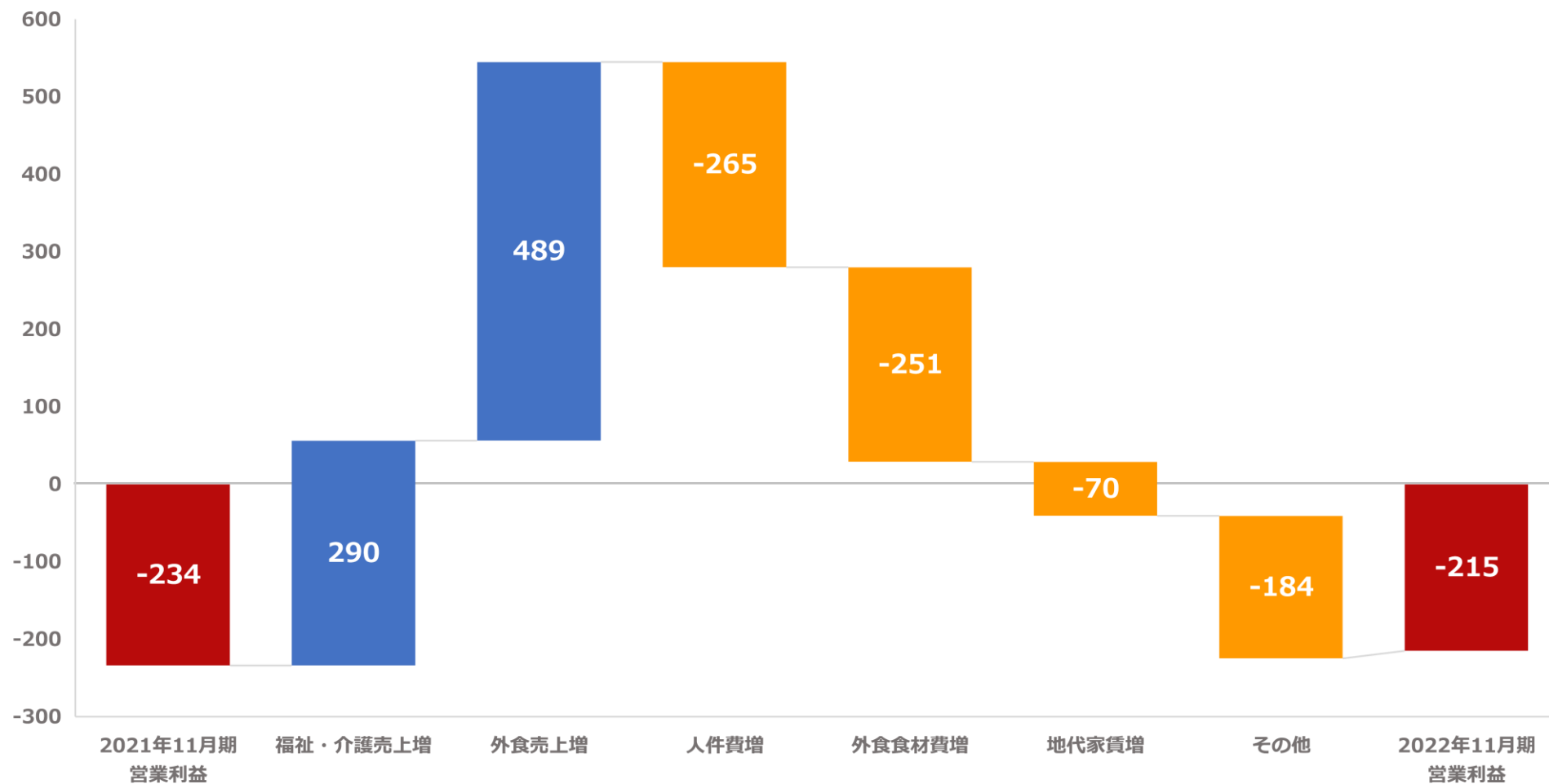
- 売上原価は福祉・介護事業の事業所数の増加、飲食店舗の稼働の増加により、706百万増加した
- 販売費及び一般管理費はM & A費用の計上等により65百万円増加した

(単位：百万円)

	2021年11月期 実績 (2020/12~2021/11)		2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,114	100.0%	4,904	100.0%	789	19.2%
売上原価	3,950	96.0%	4,657	95.0%	706	17.9%
(人件費)	2,046	49.7%	2,293	46.8%	247	12.1%
(原価外食食材費)	173	4.2%	425	8.7%	251	144.8%
(地代家賃)	446	10.9%	516	10.5%	70	15.7%
(その他)	1,283	31.2%	1,421	29.0%	137	10.7%
販売費及び一般管理費	397	9.7%	462	9.4%	65	16.4%
(人件費)	72	1.8%	90	1.8%	18	25.4%
(地代家賃)	10	0.3%	10	0.2%	0	1.6%
(その他)	314	7.7%	361	7.4%	46	14.8%
営業利益又は営業損失	△234	△5.7%	△215	△4.4%	18	—



(単位：百万円)



- 福祉・介護事業は前期及び今期開設事業所の立ち上がりにより、全体としては売上高が増加した一方で、コロナ禍の影響等による既存事業所の売上高減少により営業利益が減少した(前期比)
- 外食事業は飲食店舗の稼働が増加したため、売上高・営業利益ともに増加した(前期比)

(単位：百万円)

		2021年11月期 実績 (2020/12~2021/11)	2022年11月期 予想 (2021/12~2022/11)	2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)	前期比 増減額	修正予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	2,100	2,443	2,379	278	△63
	営業利益	140	125	60	△80	△65
介護事業	売上高	1,658	1,747	1,670	11	△76
	営業利益	84	25	△45	△129	△70
外食事業	売上高	354	857	844	489	△13
	営業利益	△187	△39	△54	132	△15
調整額	売上高	-	-	10	10	10
	営業利益	△271	△177	△175	96	1
計	売上高	4,114	5,048	4,904	789	△143
	営業利益	△234	△66	△215	18	△149

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2022年11月期は合計14事業所の開設、M&Aにより8事業所取得

修正計画(通期)：グループホーム7(64居室)、放課後等デイサービス4、通所介護3

実績(通期)：グループホーム7(65居室)、放課後等デイサービス4、通所介護3、M&Aによる取得8

■ 福祉事業：11事業所65居室を開設

共同生活援助（グループホーム）

- ・千葉県 5事業所(46居室)
- ・埼玉県 1事業所(10居室)
- ・三重県 1事業所(9居室)

放課後等デイサービス

- ・「アプリ児童デイサービス能登川」(12月)
- ・「アプリキッズ桑名野田」(4月)
- ・「TODAY児童デイサービス白金2号館」(10月)
- ・「アプリ児童デイサービス都筑ふれあいの丘」(10月) ※移転開設

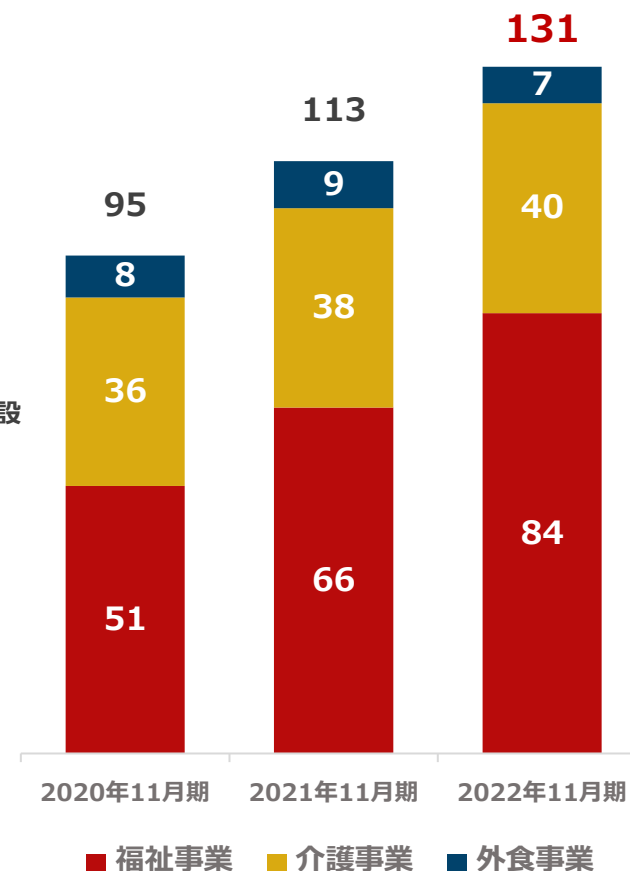
■ 福祉事業：M&Aにより8事業所取得

■ 介護事業：3事業所を開設

通所介護デイサービス

- ・「グリーンデイ南長崎」(3月)
- ・「グリーンデイ上板橋」(6月)
- ・「グリーンデイ柴崎」(7月)

事業所数の推移



※介護デイサービス1事業所閉店

※飲食店舗2店舗閉店



(単位：百万円)

	2021年11月期実績	2022年11月期実績	前期比 増減額
流動資産	3,426	3,111	△314
固定資産	1,301	2,092	790
(有形固定資産)	1,063	1,219	156
(無形固定資産)	56	343	287
(投資その他の資産)	182	528	345
総資産	4,728	5,206	478
負債	3,396	4,120	723
(流動負債)	873	1,061	188
(固定負債)	2,523	3,058	535
純資産	1,331	1,085	△245

■ 流動資産の増減要因

- 現金及び預金の減少(△429百万円)
- 売掛金の増加(+158百万円)

■ 固定資産の増減要因

- 事業所開設による建物の増加(+110百万円)
- M&Aによる建物の増加(+67百万円)
- M&Aによるのれん増加(+291百万円)
- 不動産の購入による増加(+315百万円)

■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+628百万円)

■ 純資産の増減要因

- 繰越利益剰余金の減少(△250百万円)



- 今後の事業所開設に向けて、有形固定資産の取得をするとともに、新型コロナウイルス感染症の再拡大を視野に入れ、長期借入れにより資金確保を行った

(単位：百万円)

	2021年11月期 実績	2022年11月期 実績
税金等調整前当期純利益	64	△241
営業活動によるC F	△12	△102
子会社株式の取得による支出	-	△365
有形固定資産の取得による支出	△858	△633
有形固定資産の売却による収入	261	125
無形固定資産の取得による支出	△35	△3
投資活動によるC F	△670	△909
短期借入れによる収入	-	50
長期借入れによる収入	1,720	975
借入金返済による支出	△806	△437
財務活動によるC F	879	582
現金及び現金同等物の増減額	197	△429
現金及び現金同等物の期首残高	2,291	2,488
現金及び現金同等物の期末残高	2,488	2,058



1	2022年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 通期業績予想	14P
3	2023年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	27P



- 新型コロナウイルス感染症の影響は、2023年11月期中は受けつつも、政府や自治体からの行動制限は要請されず、経済活動は継続されると想定
- 売上高は6,168百万円(前期比25.8%増)、営業利益は61百万円(前期比+277百万円)、経常利益50百万円(前期比+250百万円)と予想

(単位：百万円)

	2022年11月期 実績 (2021/12~2022/11)		2023年11月期 予想 (2022/12~2023/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,904	100.0%	6,168	100.0%	1,264	25.8%
営業利益又は営業損失	△215	△4.4%	61	1.0%	277	—
経常利益又は経常損失	△200	△4.1%	50	0.8%	250	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失	△253	△5.2%	12	0.2%	266	—



■ 新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染症の影響は、2023年11月期中は継続するとしつつも、政府や自治体からの行動制限は要請されず、経済活動は継続されると想定

■ 福祉・介護事業

- 既存事業所のご利用者様の利用キャンセルはあるものの、利用日数は維持していくものと想定
- 2021年及び2022年11月期開設事業所の立ち上がりは、順調に推移していくものと想定
- M&Aにて取得した事業所は、順調に推移していくものと想定
- 2023年11月期はグループホーム7事業所(60居室)、放課後等デイサービス1事業所、就労継続支援B型2事業所、介護デイサービス2事業所の開設を計画

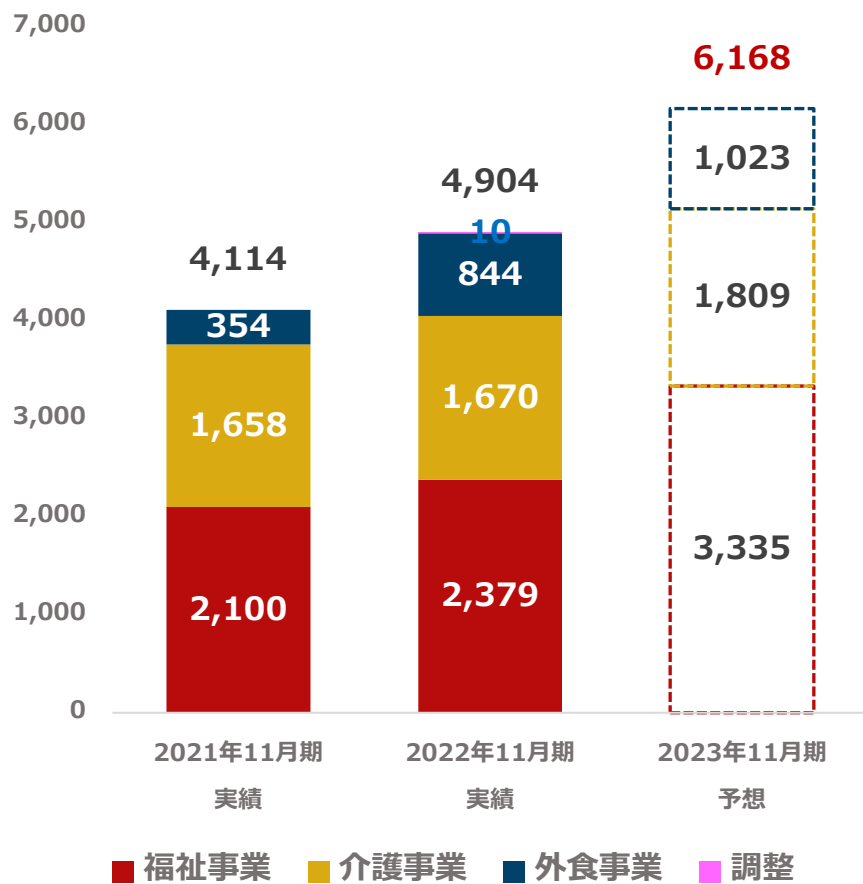
■ 外食事業

- 新型コロナウイルス感染拡大前の8～9割程度まで来店客数が回復していくものと想定
- 居酒屋店舗の順調な回復にともない、テイクアウト業態は閉店を計画
- 居酒屋1店舗の開店を計画



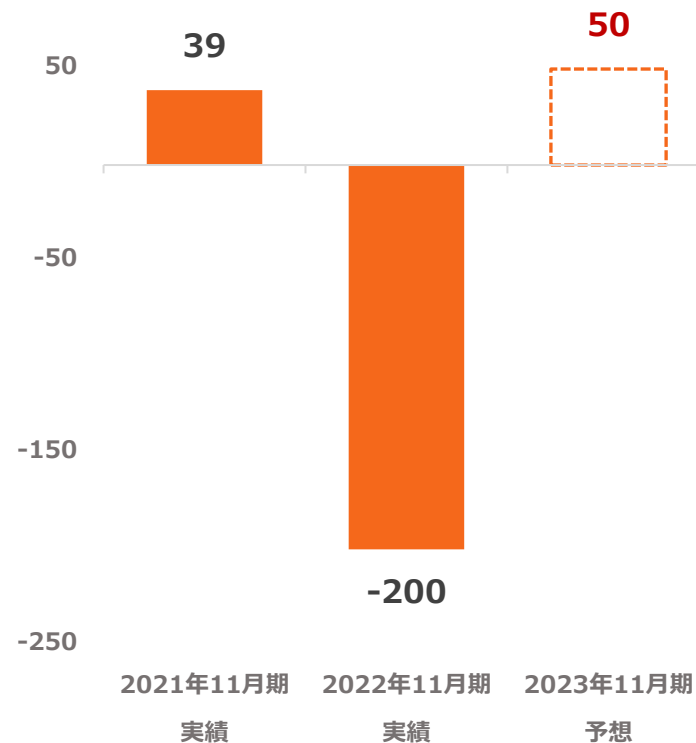
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



- 福祉・介護事業は前期及び今期開設事業所の立ち上がり、及び既存事業所の回復を想定
- 外食事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響は期末に向けて感染拡大前の8～9割程度まで売上高は回復していくものと想定

(単位：百万円)

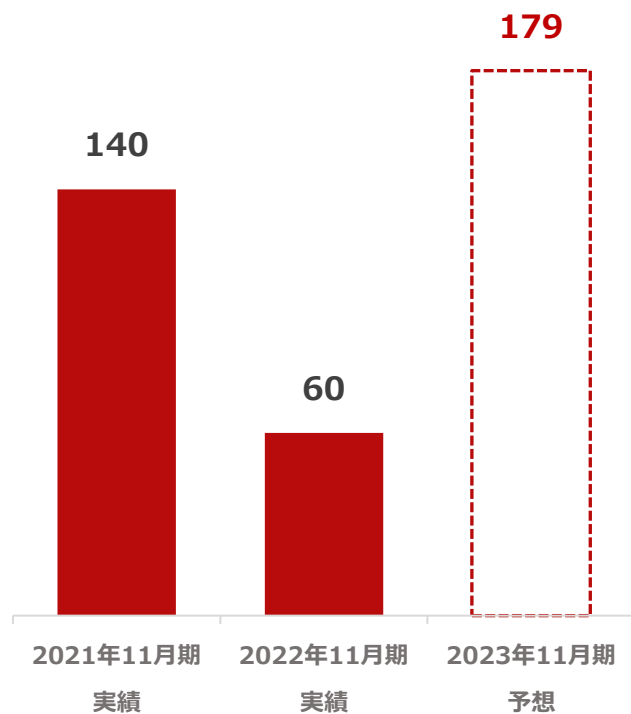
		2022年11月期 実績 (2021/12～2022/11)	2023年11月期 予想 (2022/12～2023/11)	前期比 増減額	前期比 増減率
		金額	金額		
福祉事業	売上高	2,379	3,335	956	40.2%
	営業利益	60	179	119	198.3%
介護事業	売上高	1,670	1,809	138	8.3%
	営業利益	△45	37	83	—
外食事業	売上高	844	1,023	179	21.3%
	営業利益	△54	8	62	—
調整額	売上高	10	—	△10	—
	営業利益	△175	△163	12	—
計	売上高	4,904	6,168	1,264	25.8%
	営業利益	△215	61	277	—

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

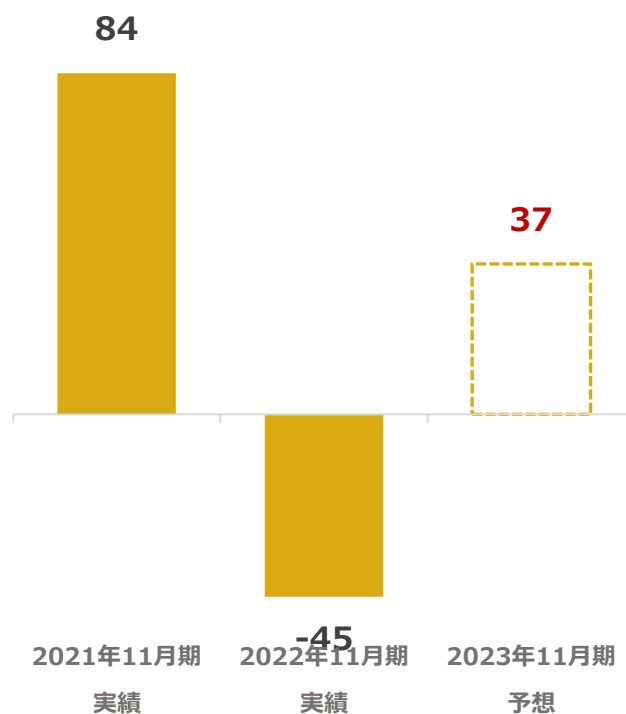


(単位: 百万円)

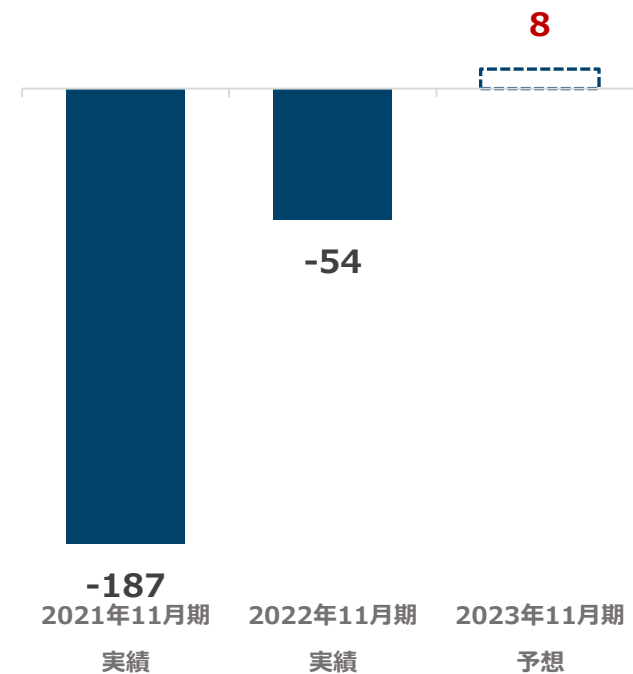
福祉事業



介護事業



外食事業



2023年11月期は合計13事業所の開設計画

■ 福祉事業：10事業所60居室の開設計画

共同生活援助（グループホーム） 7事業所(60居室)

- ・千葉県 1事業所(25居室)
- ・埼玉県 1事業所(6居室)
- ・三重県 1事業所(18居室) 他

放課後等デイサービス 1事業所

就労継続支援B型 2事業所
 ・「ラシーヌけんこうソムリエファーム」 他

■ 介護事業：2事業所の開設計画

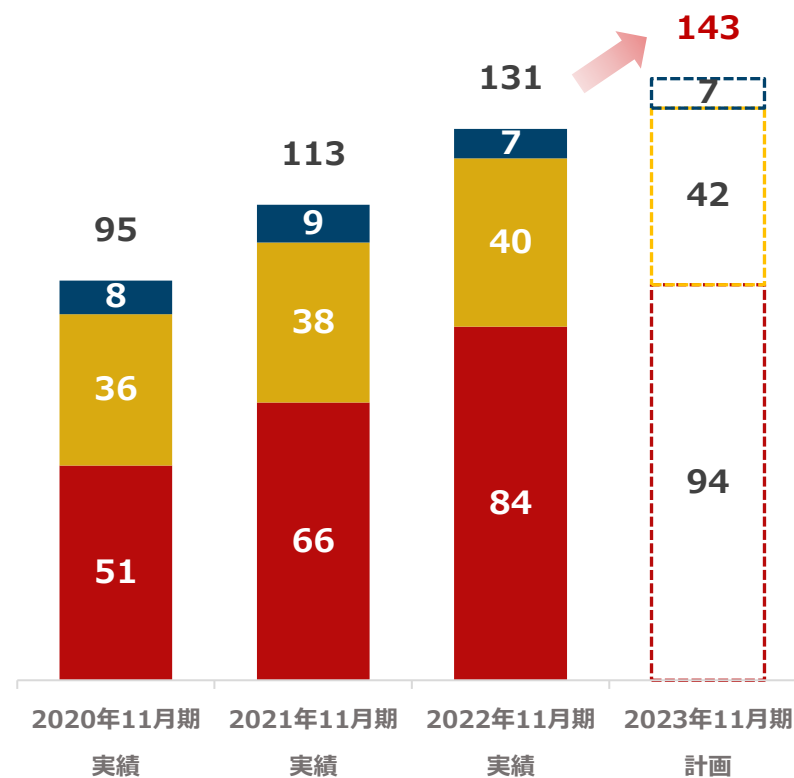
通所介護デイサービス 2事業所

■ 外食事業：1店舗の開店計画

居酒屋 1店舗

※テイクアウト業態 1店舗閉店

事業所数の推移



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業

1	2022年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 通期業績予想	14P
3	2023年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	27P



当面は、2022年9月に株式取得した(株)RAISE（4事業所）及び(株)CONFEL（4事業所）のグループへの統合作業に注力

【(株)RAISE】

名称	所在地	サービス	定員
ほしぞら	愛知県犬山市	放課後等デイサービス/児童発達支援	10名×3単位
ほしぞらとよた	愛知県豊田市	放課後等デイサービス/児童発達支援	10名×2単位
ほしぞらねこのて	愛知県豊田市	就労継続支援B型	20名
ほしぞらALOHA	愛知県犬山市	特定相談支援/障害児相談支援	10名

【(株)CONFEL】

名称	所在地	サービス	定員
ひまわりきっず	愛知県豊橋市	放課後等デイサービス/児童発達支援	10名×2単位
ひまわりとよた	愛知県豊田市	放課後等デイサービス/児童発達支援	10名
ひまわりのたね	愛知県豊川市	放課後等デイサービス/児童発達支援	10名
ひまわりばんび	愛知県豊橋市	児童発達支援	10名



2023年1月に事業譲受した就労継続支援B型事業所『ラシーヌけんこうソムリエファーム』（1事業所）のグループへの統合を推進

【ラシーヌけんこうソムリエファーム】

所在地：三重県亀山市

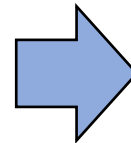
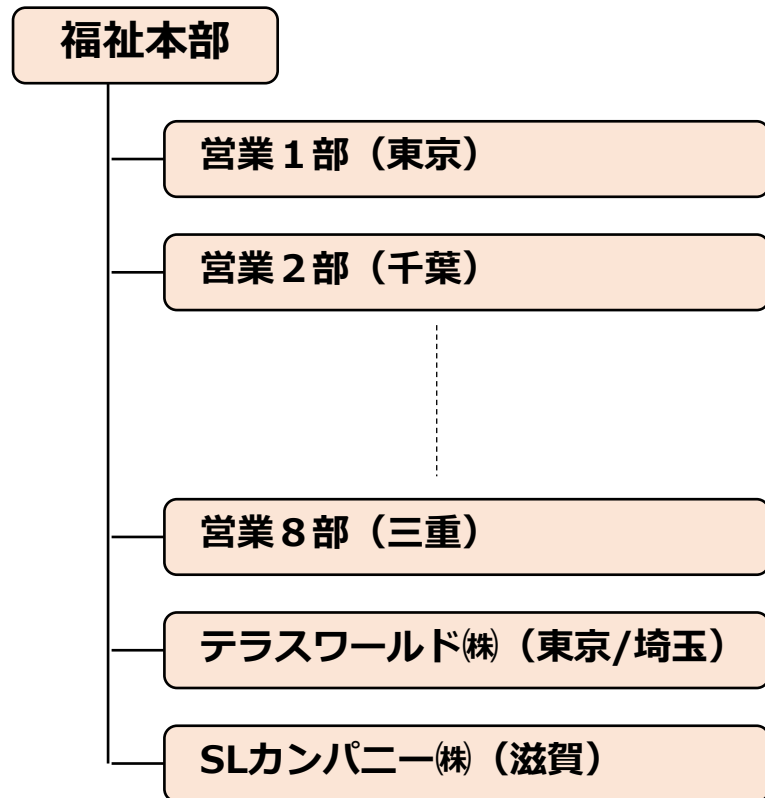
サービス：就労継続支援B型（定員20名）

特徴：ビニールハウスを使用した水耕栽培を中心とした作業を実施

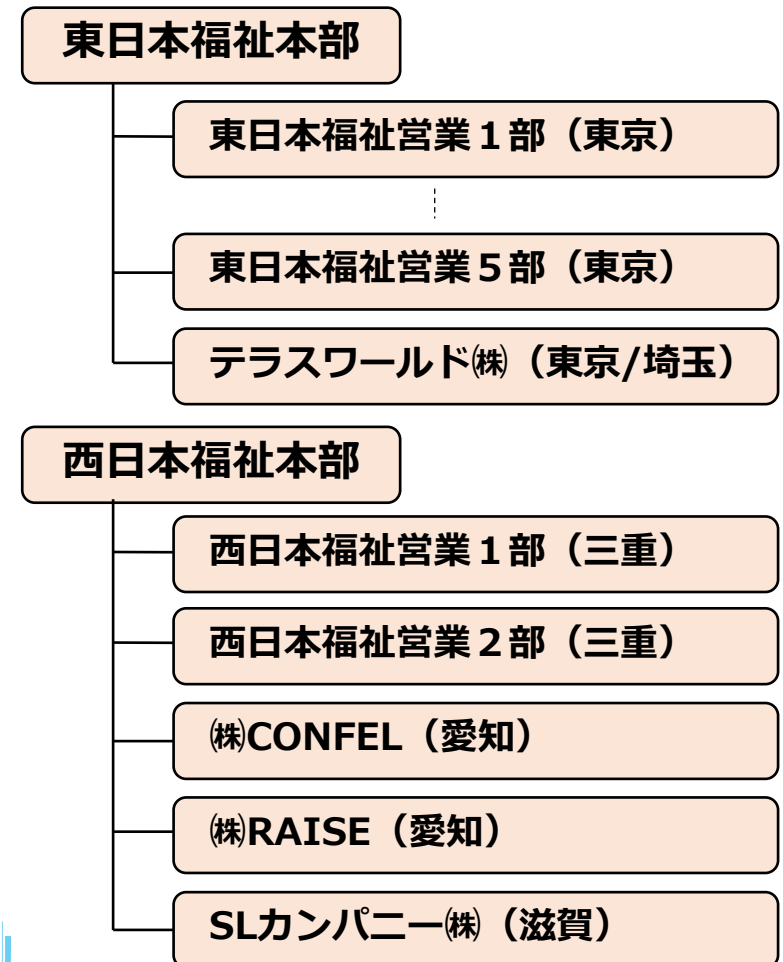


福祉事業の組織を東西に分割し、機動性・効率性を高めることでより成長を促す組織へと改編

【旧体制】

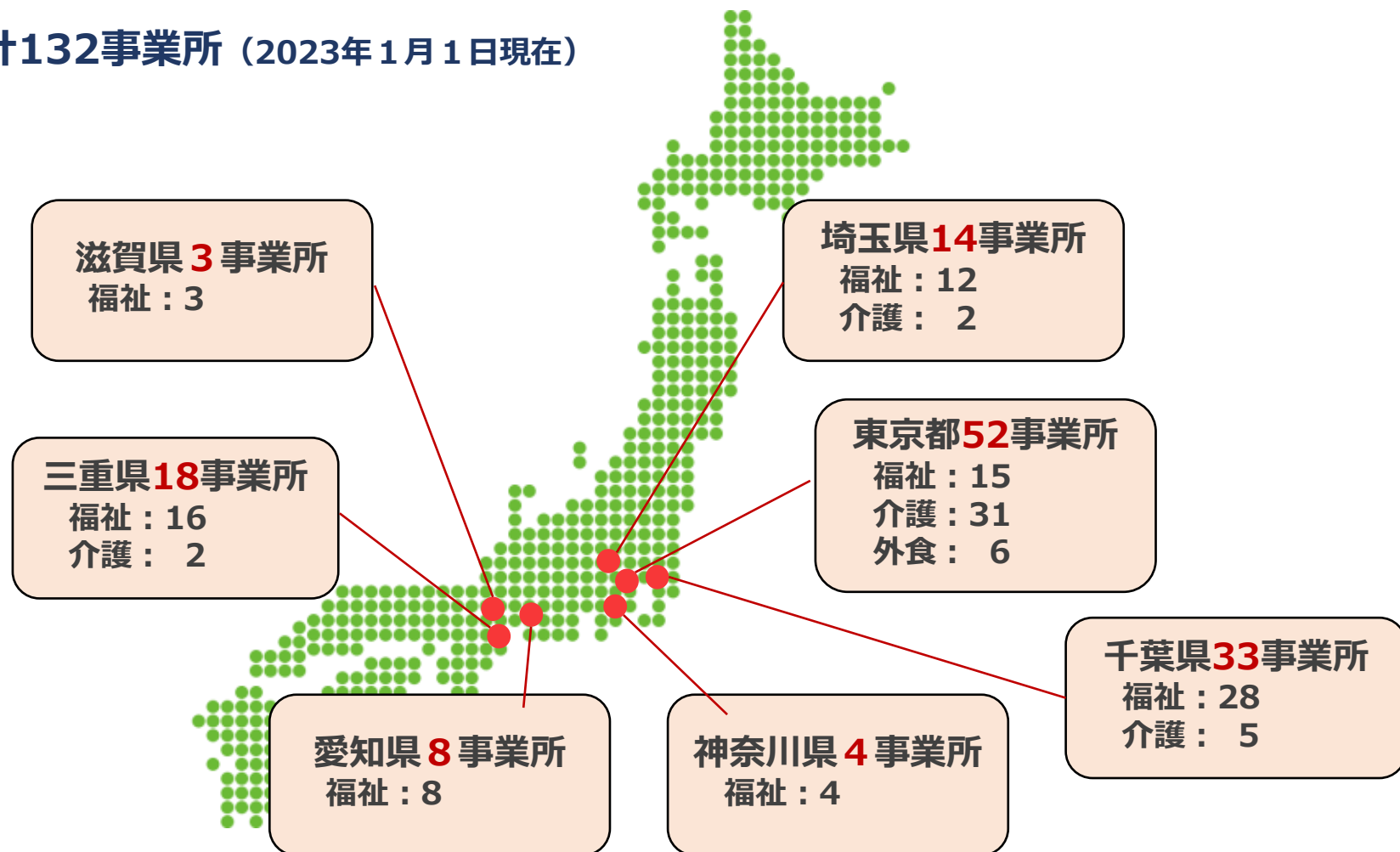


【新体制】



従来の首都圏に加え、新たに中部エリアでの事業の拡大を推進

1都6県 計132事業所 (2023年1月1日現在)



業績の向上を促す施策を推進

継続した事業所の開設

福祉・介護事業を中心に継続した事業所の開設を進め、次年度以降の成長を促していく

既存事業所の収益改善

既存事業所については、人件費を含む諸経費の設定を一から見直し、収益力の改善を図る

M&Aの推進

福祉・介護事業におけるM&Aの情報収集を進め、事業領域規模の拡大チャンスを広げていく

組織の改編

機動的・効率的な事業運営を進めるための組織改編については積極的に取り組む

スクラップ&ビルドの推進

福祉・介護・外食の各事業における最適な資源配分を進めるためのスクラップ&ビルドを積極的に進めていく



1	2022年11月期 実績	3P
2	2023年11月期 通期業績予想	14P
3	2023年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	27P





当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号 イトーピア橋本ビル2F
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	50,000千円 (2022年11月30日現在)
従業員人数	446人 (2022年11月30日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社 (連結子会社)

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)



2007

2007年
介護事業スタート

通所介護(デイサービス)事業所を開設



2008

2008年
外食事業スタート

飲食店舗を開設



2010

AHCグループ(株)設立

介護事業でのノウハウを活かし
未就学～成人後までサポートできる福祉事業を展開

2014

2014年
福祉事業スタート放課後等デイサービス(児童発達支援含む)
事業所を開設

6歳～18歳対象

2016

就労移行支援事業所を開設
就労継続支援B型事業所を開設

18歳～64歳対象

18歳以上対象

2018

障害児相談支援・計画相談支援事業所を開設

0歳～対象

2019

共同生活援助(介護包括型)事業所を開設
未就学児に特化した児童発達支援事業所を開設

18歳以上対象

未就学児対象

2020

東証マザーズ上場

生活介護事業所を開設



18歳以上対象

2021

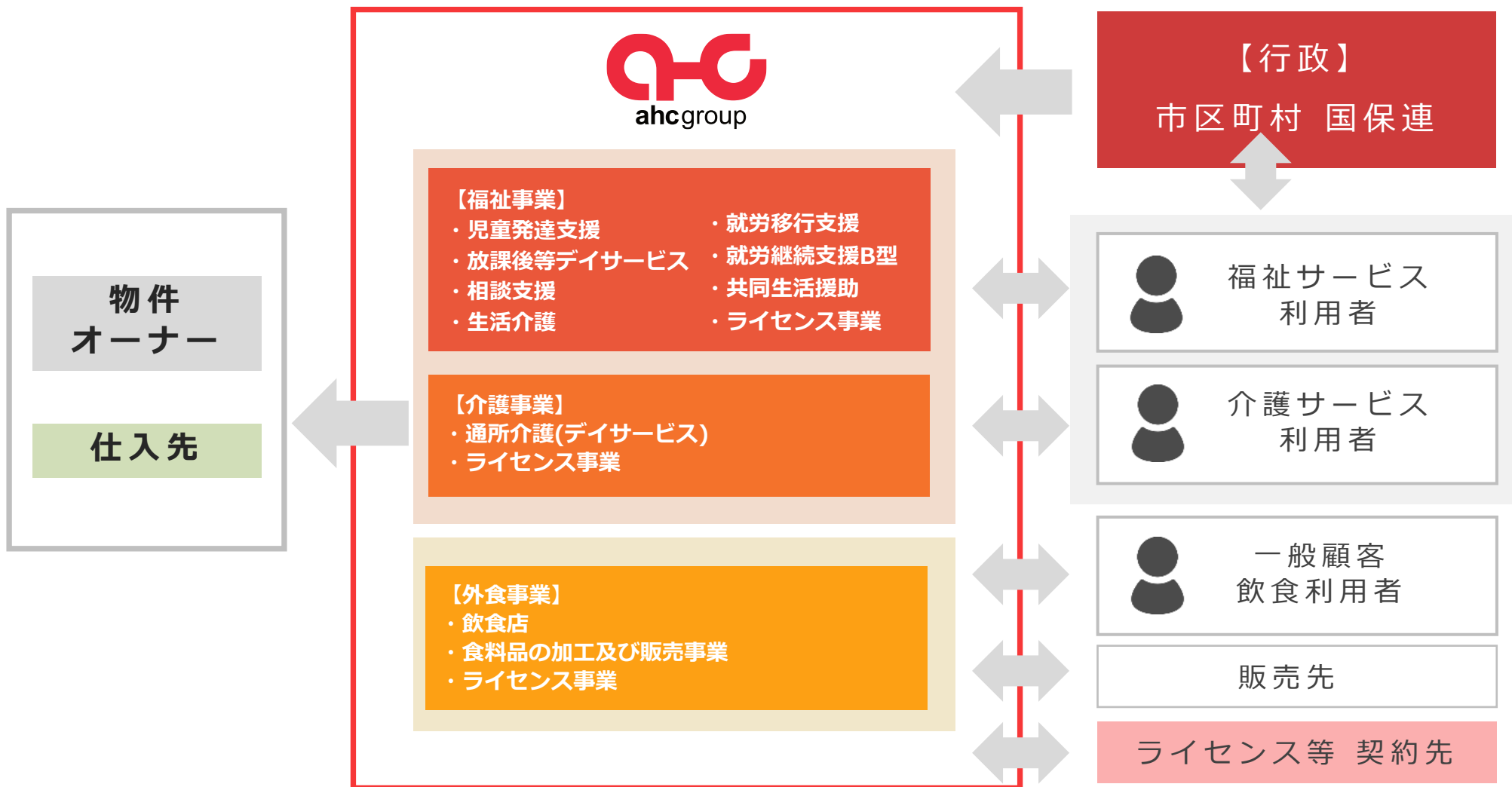
共同生活援助(日中支援型)事業所を開設
GROWTH FIELDプロジェクトを開始

18歳以上対象

2022

(株)RAISE・(株)CONFEL
子会社化

福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要



《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供



《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病を持つ方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援

就労継続支援B型事業所



《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害を持つ方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供



《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供
障害を持つ方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施



《生活介護》

介護を必要とする障害を持つ方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施



地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要



《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供



《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施



《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供



《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施



《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス



働く世代をメインターゲットに2業態を展開

外食事業：業態別概要



《ねぎま三ぞう》

若年層のサラリーマン・OL層をメインターゲットとして「ねぎま」「串天ぷら」をメニューの柱とし、高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態



《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応



持続可能な社会への貢献を目指し、
環境循環型モデル事業「GROWTH FIELD」
プロジェクトを千葉市若葉区若松町でスタート

①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのご栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する

昆虫育成後の廃マットは
畑の養分になるため土へ返す



きのご栽培(菌床椎茸の栽培・販売)



※純国産の菌床を使用した、
千葉県産の菌床椎茸として販売



栽培後の廃菌床に養分を足して発酵させる



ヘラクレスオオカブト等の昆虫の幼虫を育てる
「昆虫マット」として活用



②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)

子会社であるセンターネットワーク(株)が、付加価値の高い仕事場を提供することで、AHCグループ(株)が運営する就労継続支援B型事業所「TODAY」利用者の「多様性のある社会参加」と「工賃向上」を推進

センターネット
ワーク(株)
※子会社



「きのこハウス」
(菌床椎茸の栽培・販売)



「昆虫ショップ」
(販売)



「ヘラクレスデザインラボ」
(ヘラクレスオオカブト等の飼育)



施設外就労 作業工賃



施設外就労 作業工賃



施設外就労 作業工賃



就労継続支援
B型事業所
「TODAY」



■きのこハウス（MUSHROOM CUT）

- 北海道産菌床・千葉の地下水を原料に、菌床栽培にて純国産のしいたけを生産

…現在は1日あたり60~70kgの収穫が可能に
目標：1日あたり100kgの収穫

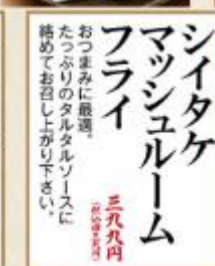
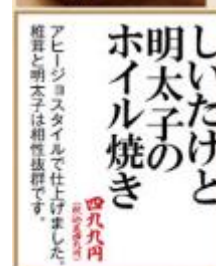


- 新たなきのこ「菌床キクラゲ」の栽培に挑戦

…店頭でテスト販売を実施中



- 『たまものしいたけ』は店頭販売をはじめ、当社グループの販売物流機能を利用し、小売業者や業務用青果卸業者へ販売開始



- 自社で運営している飲食店舗にて「しいたけメニュー」を販売

■ 昆虫ショップ (H.D Lab.)

- ヘラクレスオオカブトをブリードする飼育施設と、飼育した生体や飼育用品を販売する昆虫ショップを運営
- 「千葉県ふるさと応援寄付金」お礼の品協力事業者として地域産業の活性化に寄与…2022年10月以降、25件の申込みを受付



■ みんなの畑 (DREAM SHARE)

- H.D Lab.で使用した「昆虫マット」を田畑の腐葉土として使用
- サニーレタス、落花生、オクラ等の野菜を栽培



■ 就労継続支援 B 型事業所 (today)

- ヘラクレスオオカブトの飼育・販売、しいたけの生産・加工・出荷にともなう計量やパソコン入力作業等の生産活動を実施



■ 太陽光パネルの設置

- GROWTH FIELDでは太陽光パネルを設置しており、当該施設で使用する電力の20%は再生可能エネルギーを使用





関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

